

子どもたちの健やかな成長を願って

～公民館がつなぐ「地域協育ネット」～

【長門市 深川中学校区】

地域の概要

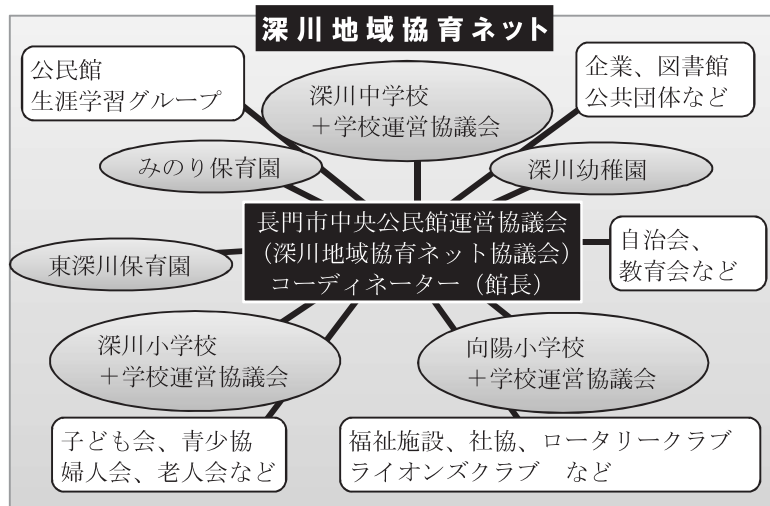
深川中学校区は、市中央部に位置し、長門市駅を中心に立地する公共施設や商業施設、国道 316 号に沿って湯本温泉街、田園地域の渋木地区と広範囲にわたっています。本地域も市内の他地域と同様に少子高齢化の波は押し寄せており、既に渋木地区の大畑小学校、深川中学校大畑分校は、深川小学校、深川中学校へ統合され、俵山中学校も深川中学校への統合が予定されています。

人口	13,647 人	
世帯数	5,976 世帯	
対象校及び児童生徒数	深川中学校	310 人
	深川小学校	550 人
	向陽小学校	55 人

組織の内容

【これまでの経緯】深川中学校区では、1 中学校と 2 小学校で、ともに学校・家庭・地域が連携し子どもたちを育てていこうとするコミュニティ・スクールに取り組んでいます。従来から、小・中学校ともに、学校支援ボランティアや外部講師による学習や地域の方々による見守り隊など、地域の「ひと・もの・こと」とかかわりを持ち、「地域総がかりで子どもを育てる」という活動が随所で行われていました。そこで、それぞれ独自に進められている既存の学校支援組織や団体をはじめとし、公民館で活動している社会教育関係団体や関係諸団体を網の目のように結んで「地域協育ネット」として進めていくことにしました。

【組織と運営】地域の多くの方が「つどい」「まなぶ」公民館には、生涯学習の拠点としてだけでなく、地域づくりの拠点としての役割が求められています。地域総がかりで子どもを育てる時には、公民館に集う生涯学習グループや社会教育関係各種団体等は大きな力になります。そこで、公民館の既存の組織による地域協育ネット協議会を立ち上げ、公民館職員がコーディネーター役を担う公民館型の「地域協育ネット」に取り組んでいます。普段から、学校や地域、公民館に集うグループ、団体等と情報交換をしながら、公民館だよりや学校だよりで情報発信をしています。



特色・重点的な取組

公民館型の「地域協育ネット」は、地域づくりの活動へとつながっているという意識の下に取り組んでいます。また、各学校の既存の学校支援ネットワークと公民館がもっているネットワークをつなげることにより、小・中学校における教育活動支援について、今まで以上に多様な活動を企画し、効果的な支援を行っています。本年度は、子どもの土曜日の居場所づくりとして、「わくわく土曜塾」の他に、通年講座として、囲碁・将棋・卓球・語学・写真を毎月第 1 土曜日に実施する「わくわく子どもクラブ」を開設しました。この活動は、1 年を通して「一つのことをやってみたい、教えてみたい」という、子どもと指導者の思いを取り入れたものです。子どもと地域の大人の思いを吸い上げることで、好循環を生むと考え、取り組んでいます。

主な活動の紹介

【学習支援】外部講師を学校の学習計画の中に位置付け、子どもたちが興味・関心をもち意欲的に学習に取り組めるように、教員は地域の方の参加による授業に積極的に取り組んでいます。授業に参加された地域の方々も、普段やっている学びが生かされたという満足感を感じておられ、今後の活動の意欲付けにもつながっています。



音楽科 琴の指導



特別支援学級児童との活動



中学校で絵手紙指導



着衣水泳

【わくわく土曜塾、わくわく子どもクラブ】公民館では、土曜日の子どもの居場所づくりとして「わくわく土曜塾」を行っています。生涯学習グループや高校、各種団体と連携し、いろいろな体験活動を実施することができるのも公民館型の「地域協育ネット」のメリットです。



水辺の教室



かまぼこづくり



楽々団とのコンサート



子どもお金教室



語学



卓球



将棋



囲碁

成果と課題

【成果】公民館に集う生涯学習グループや各種団体が学校へ出向き、子どもたちと活動することが、日常的に行われるようになってきました。学校も地域の「ひと・もの・こと」とのかかわりを年間学習指導計画の中に位置付け、子どもたちが興味・関心をもち、意欲的に学習に取り組むようにしています。また、校内にコミュニティルームを新設することで、地域の方が学校で活動できるようになってきました。

【課題】「地域総がかりで子どもを育てる」という意識は、実践や広報活動等により地域の理解が進み、協力を得られるようになってきましたが、「子どもとかかかわると疲れる」「高齢でなかなか出られない」などの声もあり、今後、更に若者や地域の方を巻き込む方策を考えていきたいと思っています。

今後の取組

本地区の「地域協育ネット」は、地域づくりの一環として取り組んでいます。今後も、「地域総がかりで子どもを育てる」という意識の下に、既存の活動を中心に実践を積み重ねていこうと思っています。また、子どもたちと地域の方のニーズや思いを吸い上げ、新たな活動にも取り組んでいきたいと考えています。そのためにも、各活動をしっかりと評価しながらプランを立て、アクションを起こしていきたいと思っています。さらに、小・中学校と連携を図りながら、子どもたちが地域貢献する活動へと発展させていきたいと考えています。